

コスパ優先なら長寿命を期待できるAM5の

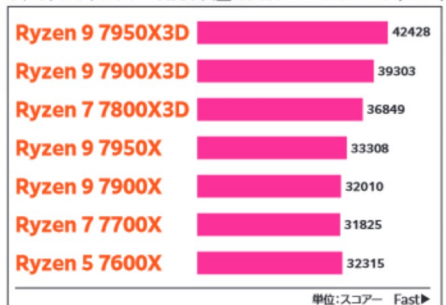
# 『AMD Ryzen™ 7000』シリーズがオススメ

高性能パーツを  
使いやすい実力派CPU

「AMD Ryzen™ 7000」シリーズは、AMD Ryzen 9000シリーズと同じく「Socket AM5」(以下、AM5)とはマザーボード上にあるCPUの装着箇所「ソケット」の形状が異なり、AM5対応製品と組み合わせる必要がある。AM5は、AM5を2027年以降も継続すると明言しているため、今後PCを長く使える点がメリット。

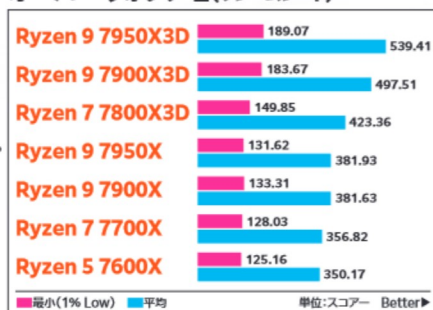
AMD Ryzen 7000シリーズには、ゲームに強いCPUとして人気の「AMD Ryzen 7000X3D」シリーズや16コア/32スレッドのAMD Ryzen 9 7950Xをはじめ、さまざまなモデルがラインナップされている。DDR5メモリやPCI Express Gen5など最新技術に対応しており、

ファイナルファンタジーXIV: 黄金のレガシー ベンチマーク(スコア)



高性能なゲーミングPCだけでなくクリエイティブ用途でも便利なPCを自作できる。マザーボード、DDR5メモリーの価格が下落傾向のため、AMD Ryzen 5000シリーズを超えるコスパも狙えるだろう。

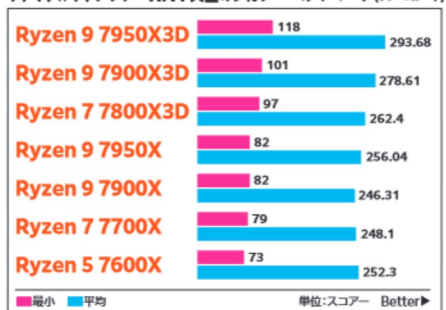
オーバーウォッチ 2(フレームレート)



▶画面解像度1920×1080ドットで、画質設定はプリセットの「低」を選択して計測した結果。ゲーミングPCを組みやすいことが分かるはずだ。

◀2種類のグラフは、画面解像度1920×1080ドットで、画質を標準品質(ノートPC)に設定して計測したものだ。その性能の高さがうかがえる。

ファイナルファンタジーXIV: 黄金のレガシー ベンチマーク(フレームレート)



手持ちのパーツを活かすならラインナップ豊富な

# 『AMD Ryzen™ 5000/4000』シリーズも注目

対応パーツが多く  
普段使いPC向き

「AMD Ryzen 5000/4000」シリーズは、2016年に登場したAM4を基盤とするCPUだ。この8月には「AMD Ryzen 9 5900XT」「AMD Ryzen 7 5800XT」の2モデル、さらに11月に「AMD Ryzen 5 5600T」「AMD Ryzen 3 5300G」の2モデルが発売されるなど長寿命プラットフォームである点が特徴となっている。また、2024年11月現在で計15種類以上のモデルが存在するうえ比較的リーズナブルな点も注目してほしい。とりわけAMD Ryzen 7 5700Xは、8コア/16スレッドという十分な性能と価格のバランスに優れているため、AM4ファンに人気があり支持されている。

AMD Ryzen 5000/4000シリーズのポイントは、利用中のPCで使っているパ

2024年も新CPUが続々登場



▶AM4は2016年に登場し、2024年も新CPUがリリースされた。非常に息の長いプラットフォームだ。

自作PCファンにはAMD Ryzen™ 7 5700Xが人気

モデル	価格
AMD Ryzen 5 7600 BOX	¥34,800
AMD Ryzen 5000 Series (Socket AM4)	
AMD Ryzen 7 5700X3D BOX	¥42,800
AMD Ryzen 7 5700X BOX	¥27,700
AMD Ryzen 7 5700X BOX	¥23,980
AMD Ryzen 5 5600X BOX	¥27,500
AMD Ryzen 5 5600X BOX	¥22,800
AMD Ryzen 5 5600X BOX	¥22,200
AMD Ryzen 5 5600X BOX	¥19,700
AMD Ryzen 5 5600X BOX	¥16,800

▶AMD Ryzen 7 5700Xは、8コア/16スレッドという十分な性能と価格のバランスに注目しよう。



ツ、例えばDDR4メモリやPCI Express Gen4対応ストレージを活かしたい場合に役立つことだ。息の長いプラットフォームだけあってこなれた価格で入手できる対応パーツや周辺機器も豊富なため、普段使いのPCや家族向けのマシンなどを組みやすいだろう。

また、上に挙げたAM5とAM4共通の特徴として、それぞれ対応マザーボードのBIOS(UEFI)をアップデートすることで数年前の製品でも今年登場した新CPUを利用できる。すでにAMDのCPUで自作PCを組んでいるなら、パーツや周辺機器をそのままに性能を向上させられるわけだ。